

CONFIDENTIAL 株式会社伊藤園 日本オラクル株式会社 Copyright © 2008, Oracle All rights reserved.

MD050_SPF_COI_006_棚卸.vsd

Issue 3.0 Ver. SCS √Iv‡ 更新者 2009/03/17 更新日 ORACLE 原島 ・機能単位 (標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・IYF機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要・システムを利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル・1システムの中間者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル・1シストムの中なスワーとすること
・フローが複数シートになる場合、(一① / ①→)のように番号でフローの繋がりを 明確にすること 2008/06/05 | 作成者 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること アドオン: 棚卸結果ファ イルIF 作成日 システムプロセスフロー記入時の注意事項 ファイルアップロード画面 ・ファイルアップロード機能、J/F表は生産領域で開発した機能を 流用するため、アドオン開発なし アドオン:ファイル アップロード画面 CSV棚卸データ取 込(SQL-LOADER) 棚卸結果の取込 COI_006_A212 <u>処理概要</u> 権制結果を取込、システム在庫と比較し受払表を出力する。また、在庫差異を棚削減耗として受払データ 各作成する。人力が法は以下2パターン ①商品実地棚卸票を出力し、ライブントで入力した棚卸結果をアップロードする方法 ②HHTで入力した棚卸結果をアップロードする方法 ②HHTで入力した棚卸結果をアップロードする方法 システム利用者 拠点 内務担当者、拠点 営業担当者、拠点、管理者、専門店 店舗担当者、百貨店」店舗担当者、 関店 停理者、専門店 管理者、棚削、管理者、専門店 店舗担当者 国貨店 管理者、専門店 管理者、棚削、管理者、外船、倉庫担当者 取込はHHT連携にて起動するパターンと、画面から手動起動するケースがあり。 棚卸CSV (手入力) 説明: 棚卸の実施 棚卸属票の出力 商品実地棚卸票 月次在庫 受払表 COI_006_A12 MD050_SPF_COI_006 棚卸の実施 手持数量 START



SPF名称 SPF名称 SPF複結ポイント

定期的イベント

START/END

奉

データ ファイル名

領域名:テープ ル名称

パッチ名称

帳票名称

2 / 5

Issue 3.0 Ver. SCS 小林 2009/03/17 更新者 更新日 ORACLE 原島 作成者 2008/06/05 作成日 END <u>処理概要</u> 機制結果を取込、システム在庫と比較し受払表を出力する。また、在庫差異を棚卸減耗として受払データ 各作成する。入力が法は以下2パターン () 商品突地棚卸票を出力し、ライブントで入力した棚卸結果をアップロードする方法 () 政制研算を出力し、ライブントで入力は、 ②HHTで入力した棚卸結果をアップロードする方法 () 政計で入力した棚卸結果をアップロードする方法 拠点内務担当者、拠点管業担当者、拠点管理者、専門店店舗担当者、百貨店店舗担当者、 拠点内務担当者、単同店管理者、棚卸管理者、外部、倉庫担当者 取立内部では、東西に管理者、棚卸管理者、外部、倉庫担当者 取込はHHT連携にて起動するパターンと、画面から手動起動するケースがあり。 松田明細票の出力 払出明組票の出力 払出明細表 (拠点別・合計) 払出明細表 (拠点別計) COI_006_A18 COI_006_A19 説明: 棚卸の実施 保管場所 月次在庫 受払表 品目原価 皿 MD050_SPF_CO1_006 棚卸の実施 START 凡例:



SPF名称 SPF名称 SPF接続ポイント

いたという

START/END

邮

領域名:アーブ ル名称

テーブル名称

バッチ名称

帳票名称

■ BP080システム プロセスステップ 画面名称

Issue 3.0 Ver. SOS 小林 2009/03/17 更新者 更新日 ORACLE 原島 ・機能単位、標準機能含む)で記入すること
・機能単位、(標準機能含む)で記入すること
・NFWU、OUTPUTもにメインテープルに必ず記入すること
・NF機能の場合、相手やシスーを記入すること
・エエの枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(一① / ① →)のように番号でフローの繋がりを明確ですること
・1マステムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること END 作成者 2008/06/05 作成日 受払残高表 (倉庫・預け先) 月次在庫受 払(日次) 差異の確認 COL_006_A15 受払残高表 (営業員) 差異の確認 COI_006_A14 前日在庫を抽出 棚即結果を取込、システム在庫と比較し受払表を出力する。また、在庫差異を棚卸減耗として受払データ を作成する。入力方法は以下2パターン ()商品実地棚卸票を出力し、クライアントで入力した棚卸結果をアップロードする方法 ②HHTで入力した棚卸結果をアップロードする方法 システム利用者 拠点 内容指当者、拠点 管理者、専門店 信報担当者、百貨店 店舗担当者、百貨店 店舗担当者、 理点 内容括当者、拠点 管理者、棚卸 管理者、外卸、倉庫担当者、百貨店 店舗担当者、 取点 内容を置す。専門店 管理者、棚卸 管理者、外部、倉庫担当者 取込はHHT連携にて起動するパターンと、画面から手動起動するケースがあり。 日次在庫受払表作 最終取引ID 管理 資材取引 COI_006_A09 説明: 棚卸の実施 MD050_SPF_COI_006 棚卸の実施 START



SPF接続ポイント SPF.NO SPF名称

価値配イント

START/END

市市

データ ファイル名

領域名:アーブ ル名称

テーブル名称

パッチ名称

帳票名称

凡例:

Issue 3.0 Ver. END SOS 小林 2009/03/17 更新者 更新日 VD受払CSV ・機能単位(標準機能含む)で配入すること
・機能単位(標準機能含む)で配入すること
・NFNUT、OUTPULをしたメイン・プルに必ず記入すること
・NF機能の場合、相手係システムを記入すること
・ た上の枠内に処理概要・システム利用者・処理タイミング等を記入すること
・ プァイル、1システムプロセスフローとすること
・ フローが複数シートになる場合、(一① / ① →)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・ 明確にすること
・ ロシステムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること SCS 小林 2009/01/06 作成者 VD受払CSV作成 VD受払CSV出力 COL_006_A23 作成日 VD受払情報 -前日在庫/月首在庫を抽出 VD受払データ作成 VD受払データ作成 VD コラムマスタ データ連携 制御 資材取引 への取引データを取込、システム在庫と比較しVD受払表をGSV出力する。 システム利用者 商品部担当者、財務経理部担当者 処理分イミング・全の地 VD取引データの取込は日々行う。またVD受払表のCSV出力は在庫確定後に実施する。 COI_006_A22 説明: 棚卸の実施 MD050_SPF_COI_006 棚卸の実施 START 凡例:



SPF名称 SPF格称 SPF接続ポイント

価値配イント

START/END

中

データ ファイル名

領域名:テープ ル名称

テーブル名称

パッチ名称

5 / 2